

1 「愛媛スペック」の取り扱い

(1) 「スペック」、「試行」、「課題」の区分

スペック

今後、県事業を行なう上で全般的に取り組む項目を「スペック」として取りまとめた。

試 行

効果や影響、コスト等に不明な点があるため、箇所を限ってモデル的に取り組み、その結果を集積し今後の取り扱いを検討していく項目を「試行」としてとりまとめた。

広い意味では、上記「スペック」とともに、この「試行」も「愛媛スペック」である。

試行箇所の選定や実施にあたっては、出先機関と本庁所管課とが協議しながら取り組むこととなる。

課 題

事業を行なう上で課題となっているが、不明な点や問題が多く、現時点では試行する段階に至っていないものを「課題」として計上した。

各担当者に問題意識を持ってもらい、広範な意見や提案を受けて、今後、試行の可能性等を検討していくこととなる。

(2) 今後の取り組み

愛媛スペックは、これが完成品ではなく、今後、継続して検討していく予定である。

全般的に取り組むものとして「スペック」に位置付けた事項も、担当者等の意見を収集し、必要に応じて修正する。

「試行」については、実施箇所の状況やその反省、追跡調査結果等を収集し、「スペック」への昇格の是非や内容の修正など今後の取り扱いを検討する。

「課題」についても、担当者等から意見をもらい、検討する。

このように、現場等からのフィードバックを繰り返しながら、より良いスペックとなるよう修正を加えていく。